

BINDER

バインダー

REAR VIEW

リアビュー



# NZ-666 KSHATRIYA

## NEO ZEON PROTOTYPE MOBILE SUIT FOR NEWTYPE

MODEL NUMBER : NZ-666 TOTAL HEIGHT : 22.3m WEIGHT : 29.7t TOTAL WEIGHT : 74.02t  
GENERATOR OUTPUT : 16,540kw MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY  
ARMAMENTS :  
MEGA PARTICLE CANNON / I-FIELD GENERATOR / FUNNEL / BEAM SABER / MACHINE CANNON

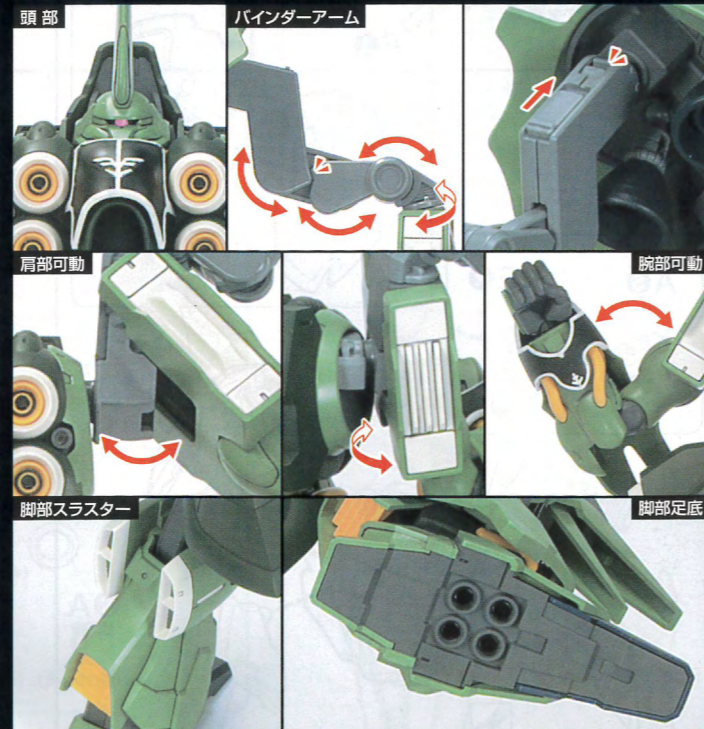
© 創通・サンライズ

MODE CHANGE

収納形態

DETAIL

各部ディテール



### COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。  
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。 ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

●本体等: ホワイト(75%) +濃緑色(1)(20%) +オレンジイエロー(5%)	●腰部等: 濃緑色(1)(100%)	●関節等: グレー(80%) +ブラック(20%)	●肩部等: グランプリホワイト(100%) +ブラウン(極少量)	●パイプ等: ホワイト(70%) +オレンジイエロー(20%) +オレンジ(10%)	●腕部袖等: ブラック(100%)	●つま先等: ミッドナイトブルー(65%) +インディブルー(35%)
---	-----------------------	---------------------------------	--	---	----------------------	---



1/144 SCALE

HG  
UNIVERSALCENTURY

機動戦士  
ガンダム UC  
MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0160542

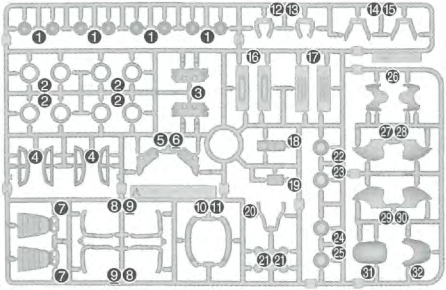




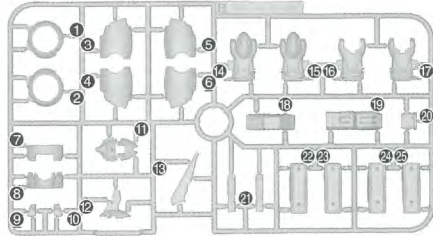
# パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

## Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

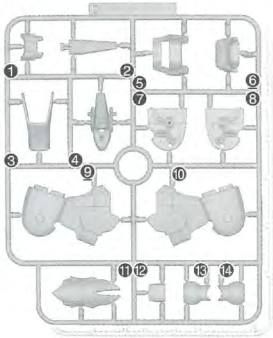


## Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



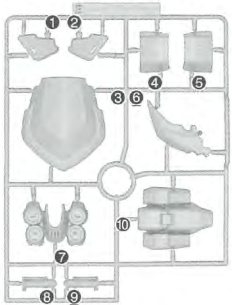
## Dパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)

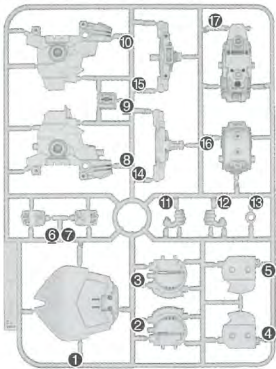


## Eパーツ

(スチロール樹脂: PS)

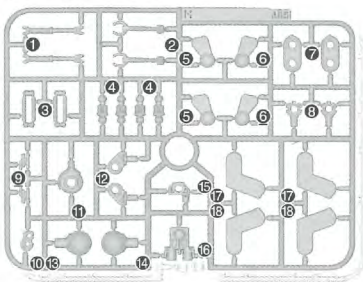


## Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



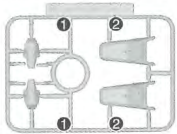
## Hパーツ (×2)

(ABS樹脂: ABS)

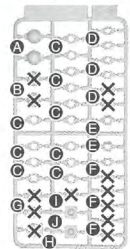


## Iパーツ

(スチロール樹脂: PS)



<PC-116>  
(ポリエチレン: PE)



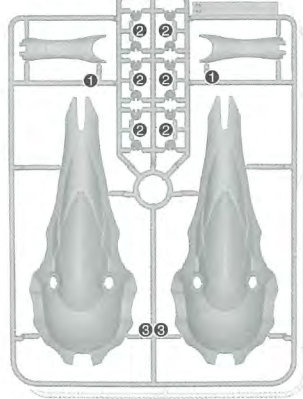
## SB1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



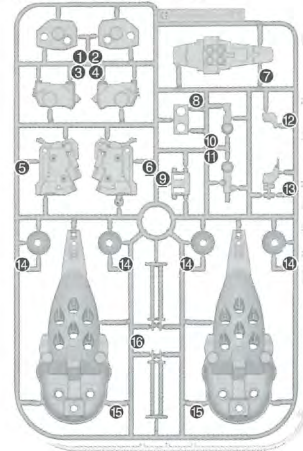
## Cパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



## Gパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



●シール.....1

### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

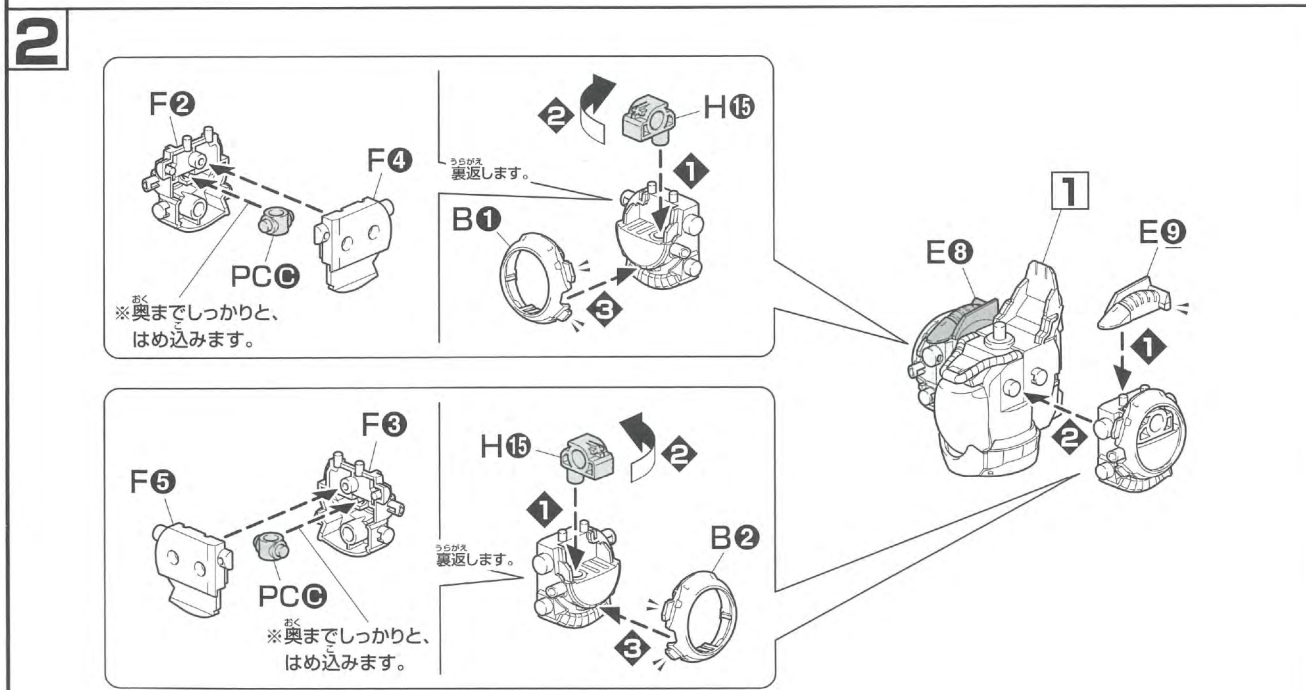
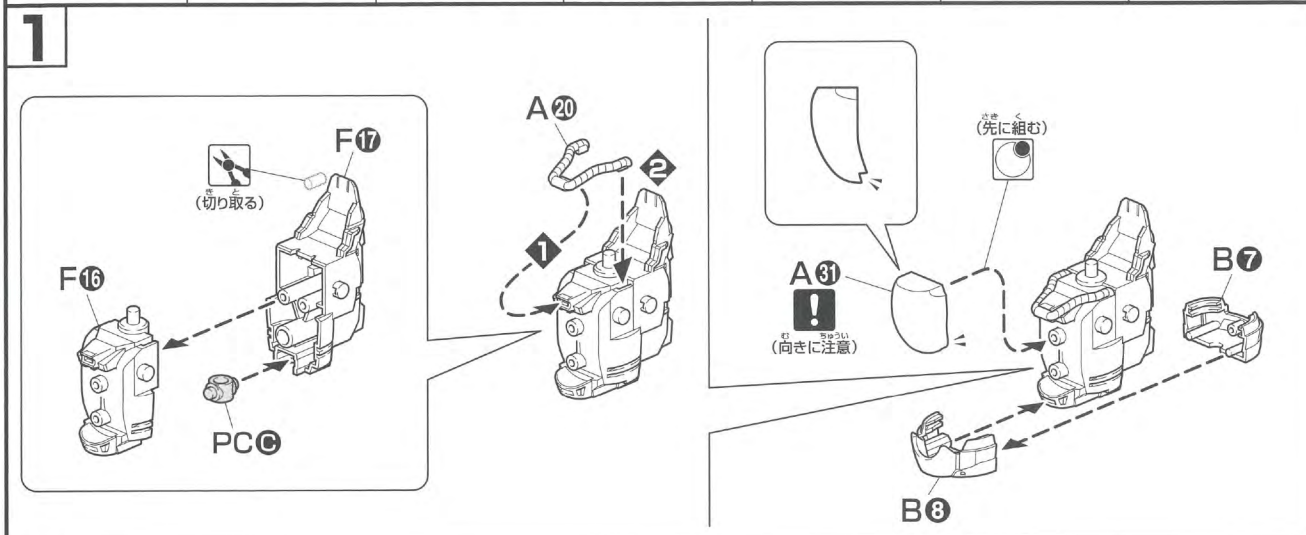
### 注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

塗装をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側と同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かし

### 《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。





**3** ※シールは先に貼ります。

2

E7

E10

A21 (シール)

A22 (シール)

A21 (両側取り付ける)

A23 (向側に注意) (反対側に取り付ける)

A24 (向側に注意) (反対側に取り付ける)

A25 (両側取り付ける)

「裏から見た図」

「裏から見た図」

**4**

※シールは先に貼ります。

F13 (シール)

PCF

B13

B12

B11

B10 (向側に注意) (反対側に取り付ける)

**5** ×4  
4個作る

H6 (向側に注意)

H7 (向側に注意)

H5

H12

**6** ×4  
4個作る

H10

H8

H9

H17

5

「裏から見た図」

※図の位置に合わせてください。

**7** ×2  
2個作る

G11

G10

H10

D13

D14

**8** ×2  
2個作る

7

G12

G13

**9** ×2  
2個作る

G8

H16

**10**

B16

PCJ (先に組む)

**11**

「後ろから見た図」

A10 (向側に注意)

A12 (向側に注意)

A26

A27

A29

D11

「前」

「シール」

「シール」

「シール」

「シール」

「反対側に貼るシール」

「正面から見た図」

**12**

B24

PCF

G9

G10

H10

A16 (向側に注意)

A17 (向側に注意)

D12

F6

F11

9 (先に組む)

B23

11

**6**

6



# NZ-666 KSHATRIYA

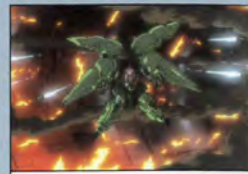
クシャトリヤは、第一次ネオ・ジオン戦争（ハマーン戦争）時に実戦投入されたNZ-000 クィン・マンサをベースとし、そのスペックを維持したままでの小型化をコンセプトとして開発された機体である。クィン・マンサ自体、当時の技術によって「最小化」された機体であったが、多くの機能を盛り込んだ結果、40m級の巨大MSとなってしまう、非常に運用しづらい機体となっていた。その後のサイコフレームをはじめとする各種デバイスの高密度実装技術やノウハウの蓄積があって初めて、クシャトリヤは20m級の機体として完成することができたのである。サイコフレームはコックピット周辺を中心に構造材として使用されており、機体の小型化に大いに寄与しているもの。第二次ネオ・ジオン戦争（シャアの反乱）後のネオジオンにはサイコフレームを独自に生産する能力はなく、本機はほぼワンオフの機体となっている。本体に匹敵するボリュームを持つ4基のバンダーは、メガ粒子砲塔、ファンネル・コンテナ、1フィールドジェネレーター、フレキシブルスラスタなど複数の機能を併せ持ち、バンダー自体もAMBACユニットとして機能するほか、ファンネル回収の用途を持つ。サブ・アーム（いわゆる「隠し腕」）には小型ビーム・サーベルが内蔵されており、近接戦闘においてもオールレンジからの対応ができる。専用のオプション兵装として、ビーム・ガトリングガンも用意されていた。小型化されたとは言いながらも、フルスペックのサイコミュ搭載機であるため、パイロットに高いNT能力が求められることには変わりなく、「袖付き」内でも運用できるのは強化人間のマリーダ・クルスのみとされている。

**SPEC**  
 型式番号：NZ-666  
 全高：22.3m  
 本体重量：29.7t  
 全備重量：74.02t  
 ジェネレーター出力：16,540kw  
 装甲材質：ガンダリウム合金

**武装：**  
 胸部メガ粒子砲  
 バンダー部メガ粒子砲  
 1フィールドジェネレーター  
 ファンネル  
 ビーム・サーベル  
 マシン・キャノン



**バンダー**  
 2門のメガ粒子砲を装備し、6基のファンネルを収納するコンテナ、1フィールドジェネレーター、スラスタ、サブ・アーム、プロペラントタンクなどを内蔵する複合ユニット。



**ファンネル**  
 基礎構造はキュベレイ系のものに準じるが、機動性はより向上しており、デブリと誤認されるほど小型化されている。バンダーでエネルギーとプロペラントのリチャージが可能。

**マシン・キャノン**  
 胸部に内蔵されている固定装備。実体弾を連射し、主に近距離での牽制に使用される。



**サブ・アーム**  
 バンダーの先端に装備された簡易型のマニピュレーター。ノイエ・ジールなどと同様、小型ビーム・サーベルを内蔵する。



**メガ粒子砲**  
 ミノフスキー粒子を圧縮したメガ粒子を射出するビーム兵器。胸部に4門、4基のバンダー部に2門ずつ装備されており、バンダー部の計8門は自在に動かため、死角がほとんど存在しない。

**ビーム・サーベル**  
 両手首の内側に収納されており、収納時はビーム・ガンとしても機能する。



●写真はバンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用しています。（※アクションベース2には、対応していません。）



●写真はイメージです。

## NZ-666 クシャトリヤ

クシャトリヤは、『機動戦士ガンダムUC』に登場するNT専用MSである。U.C.0096年4月7日。シャアを総帥とするネオ・ジオンが瓦解して3年後、その残党は密かに「袖付き」と呼ばれる組織を結成していた。AE（アナハイム・エレクトロニクス）社の繁栄の陰に暗躍するピスト財団が提示した取引——地球連邦政府成立の根幹を揺るがす謎を秘めた「ラプラスの箱」に関わる交渉を行うため、暗礁海域で新規に建設中の〈インダストリアル7〉に向かっていった偽装貨物船ガラシエールは、地球連邦軍のバトロール隊に捕捉されてしまった。「暗礁海域に入る前に追いつかれるな……。よし、マリーダを出せ。ハエを追い払ってもらう」「袖付き」のジンネマン船長の命令下、ガラシエールのペイロードから滑り出したクシャトリヤがハンガーから解放され、その異形をあらわにする。「マリーダ・クルス、クシャトリヤ。出る」4基のバンダーを打ち広げ、スラスタ光を閃かせたクシャトリヤは、ガラシエールに追いつくジェガンの部隊を迎撃すべく虚空に向けて加速する。迫るジェガンは3機。その内の1機は特務仕様「スターク・ジェガン」か。「敵」を認識したマリーダの意志に導かれ、クシャトリヤのバンダーからファンネルが射出される!!




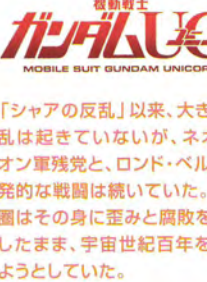
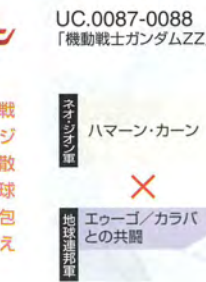
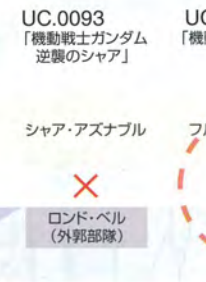
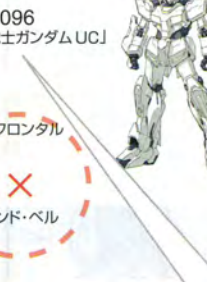

## マリーダ・クルス

クシャトリヤのパイロット。ネオ・ジオン残党の「袖付き」に所属してはいるものの、フル・フロンタル率いる本隊とは別行動をとることが多い。偽装貨物船ガラシエールの船長ジンネマンを慕い、忠誠を誓っている。第一次ネオ・ジオン戦争（ハマーン戦争）時に投入されたNT専用MSのパイロットとして育成されていた過去を持つ。



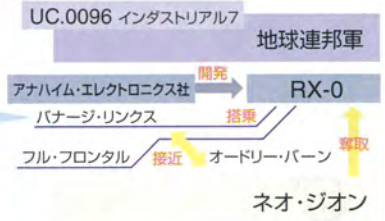
## Universal Centuryにおける「機動戦士ガンダムUC」の舞台

映像作品として、ユニバーサルセンチュリー（U.C.）の世界で「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」から3年後を描いた作品である。

 UC.0087-0088 「機動戦士ガンダムZZ」 ハマーン・カーン エウゴ / カラバとの共闘	 UC.0093 「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」 シャア・アズナブル ロンド・ベル（外郭部隊）	 UC.0096 「機動戦士ガンダムUC」 フル・フロンタル ロンド・ベル	 UC.0096 「機動戦士ガンダムUC」 フル・フロンタル	 UC.0096 「機動戦士ガンダムUC」 フル・フロンタル	 UC.0096 「機動戦士ガンダムUC」 フル・フロンタル
--	--	--	--	--	--

「機動戦士ガンダムUC」は、2006年より角川書店「月刊ガンダムエース」にて福井晴敏により連載が始まり、2009年8月まで連載されていた小説である。その内容は、1988年に公開された劇場版「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」に連なる歴史、「宇宙世紀」の新たな流れを描いた、待望の「機動戦士ガンダム」の新章ともいえる。新しき「宇宙世紀」を築き上げるスタッフは、監督・古橋一浩、脚本・むとうやすゆきを迎え、アニメーションキャラクターデザイン・高橋久美子、メカニカルデザインにはカトキハジメ、石垣純哉、佐山善則、玄馬彦彦らが結集、「機動戦士ガンダム」が持つ独自の世界観「宇宙世紀」の息遣いを紡ぐ、最も旬なクリエイターたちである。

**バナージ・リンクス**  
 BANAGHER LINKS  
 本編の主人公。私生児として育ち、母の死を契機に、見知らぬ父に引き取られた。スペースコロニー〈インダストリアル7〉のアナハイム・エレクトロニクス工業専門学校に通う学生。謎の少女オードリー・バーンと出会い「ラプラスの箱」を巡る事件に巻き込まれていく。





**13**

《後ろから見た図》

(先に組む)

PC1

B14

8

B17

前

《向きに注意》

A16

《向きに注意》

**14**

A26

13

A28

A30

前

《正面から見た図》

D11

(シール)

(シール)

(反対側に貼るシール)

**15**

B25

PCE

G9

9

B22

(先に組む)

F7

F12

D12

14

A16

《向きに注意》

**16**

6

15

**17**

SB11

B21

12 で作った右腕

4 で作った頭部

3 で作ったボディ

16 で作った左腕

モノアイの可動

※ここを動かします。《下から見た図》

(左手にも持たせられます)

**18**

×2  
2個作る

G3・G4

D5

PCA

G7

D6

《裏から見た図》

※きれいに切り取ります。

**19**

×2  
2個作る

G2

PC0

G1

PC0

(後に組む)

**20**

×2  
2個作る

PC0

G6

G5

A9

《向きに注意》

**21**

×2  
2個作る

D3

A7

D1

20

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※きれいに切り取ります。裏返します。

**22**

×2  
2個作る

D10

A4

D8

《向きに注意》

**23**

×2  
2個作る

A4

D9

D7

《向きに注意》

**24**

×2  
2個作る

D4

I1

D2

20

※奥までしっかりと、はめ込みます。

**26**

25

22

21

23

24 を裏返したものを

**25**

B5

PC0

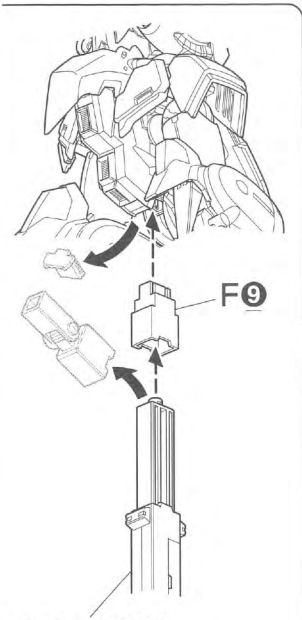
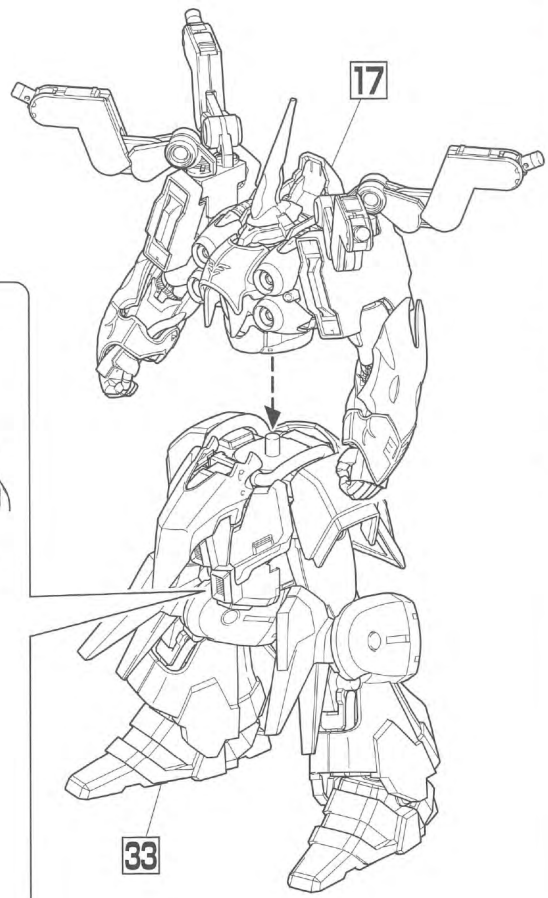
19

B3

(後に組む)

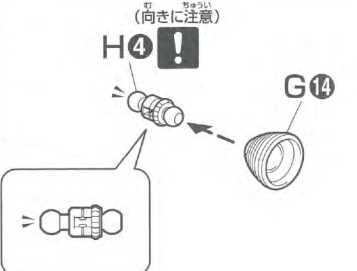




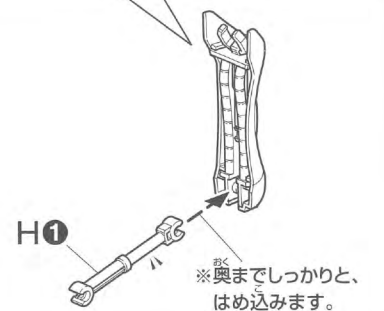
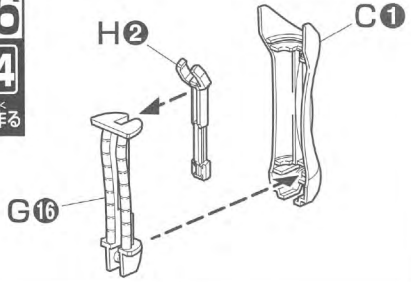


※バンダイプラモデル  
アクションベース1(別売り)

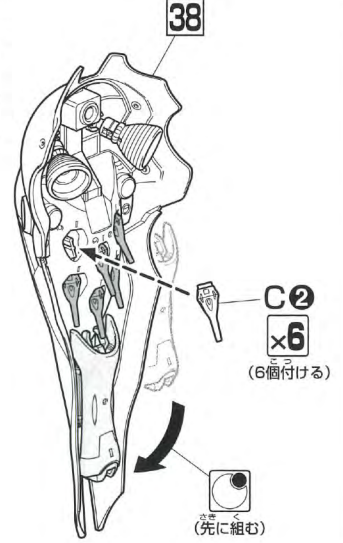
×8  
こっく  
8個作る



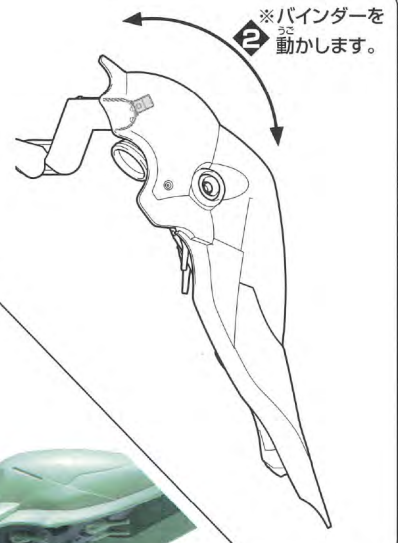
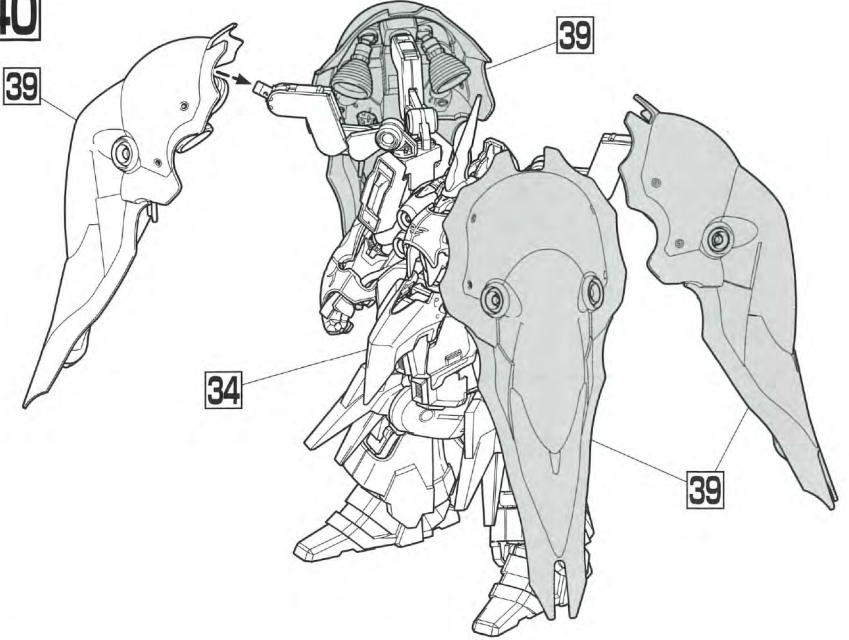
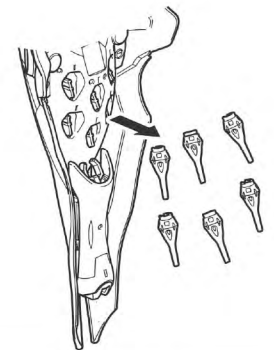
36  
×4  
こっく  
4個作る



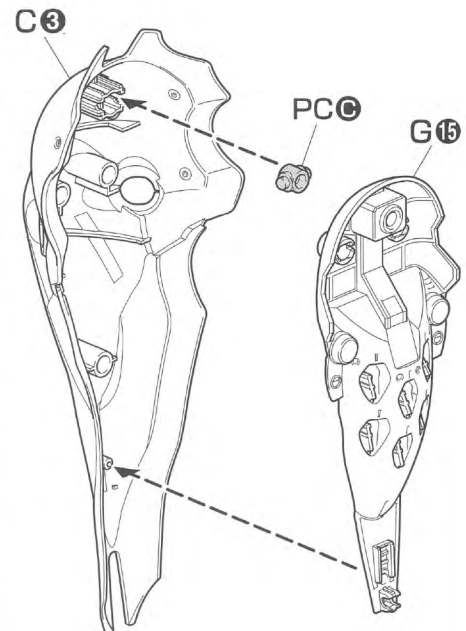
×4  
こっく  
4個作る



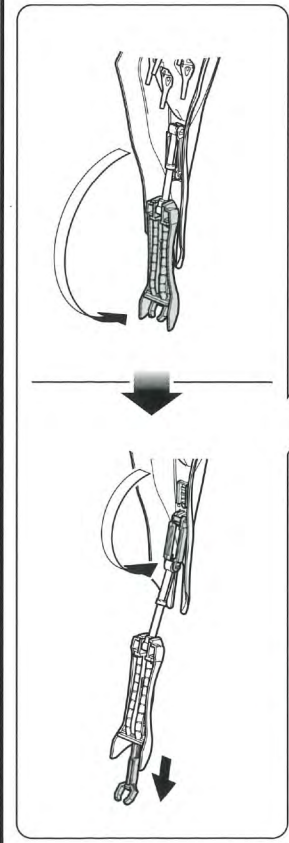
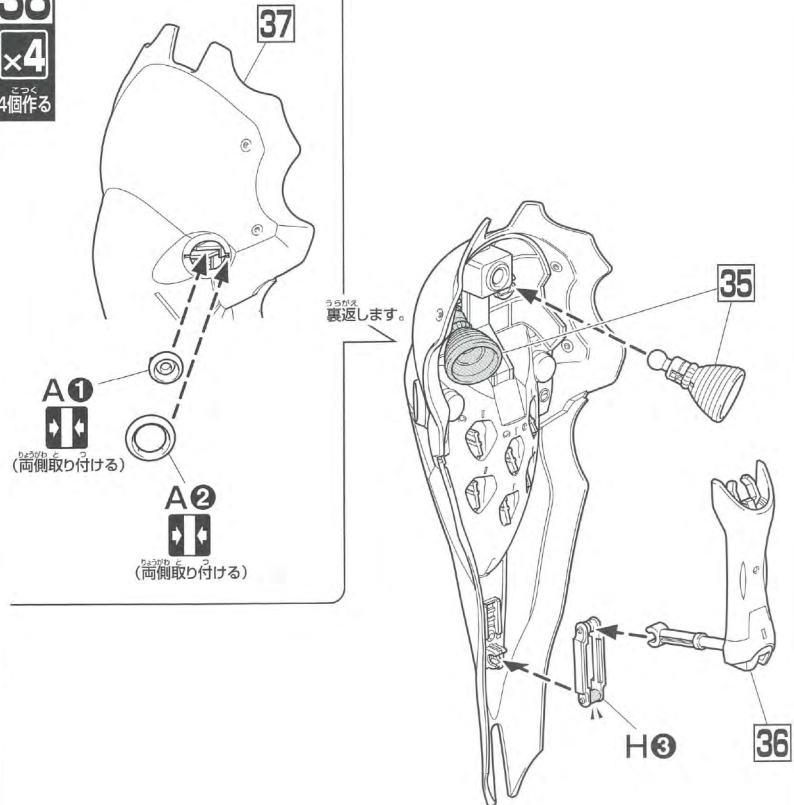
《ファンネルの外し方》



×4  
こっく  
4個作る



×4  
こっく  
4個作る



※写真の完成品は塗装してあります。